



ルーテル 藤が丘だより

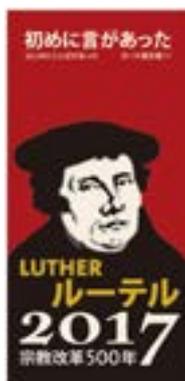
ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会
〒 227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 牧師 佐藤和宏
tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp
発行 月報編集委員会 発行日 2017年10月1日 No. 41



1517-2017
宗教改革 500 年



photo by M. Sugiura



これらの小さな者が一人でも滅び
ることは、あなたがたの天の父の
御心ではない。

マタイによる福音書 18章 14節



シリーズ説教

『帰る場所』

牧師 佐藤和宏

マタイ18章1節～14節

私たちの間でも様々なものや事柄について、対比をみることができるようでしょう。例えばそれは重要なこととそうでないこと、価値があることと価値がないこと、意味があることと無意味に思えること、あるいは喜びと悲しみ、そのような対比する2つのものの、前者を人は肯定的にとらえ、後者を否定的にみて、私たちは前者を求めようと試みるのです。しかしイエスは、私たちの思いとは正反対のものを指し示されるのです。私たちからするならば重要ではないと思えるもの、価値がない、無意味である、そして悲しみをもたらすようなものこそ、イエスは天の国にふさわしいと言われているのです。

先日の女性会における聖書研究では、盲人バルティマイがイエスによって癒された場面が与えられています。バルティマイは、イエスのお通りだ、と聞くと、大声で叫んだのです。「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」。人々が制しても、彼は叫ぶことを止めようとしません。それほど、バルティマイは憐れみが必要としていたということが想像されます。そして、ついに彼はイエスの憐れみによって癒されたのです。

ルーテル教会の式文にキリエがあり、私たちは毎週の礼拝で「主よ、憐れんでください」と歌います。それはまさにこのバルティマイをはじめ、聖書に見られる主に憐れみを求めて叫ぶ人々の声から取られた言葉です。このキリエですが、式文に目を向けると「開会の部」に位置していることがわかります。式文全体の中で「開会の部」の位置づけは、続く「御言葉の部」で御言葉を受けるために自らを整えることを、その主な内容としていることがわかります。それは罪の告白をすることによってであり、キリエにおける主の憐れみを求めることによってとなりま

す。ルーテル教会では礼拝を神の働かれる場、神が私たちに奉仕してください。その神の奉仕を受けるための準備として「キリエ」が歌われているということなのです。神の奉仕を求めて、「主よ、憐れんでください」と歌うことが求められているということなのです。さらによく式文の流れに注目しますと、罪の告白には罪の赦しが続ぎ、キリエで憐れみを乞う私たちは、主の栄光を讃えるのです。このことは次のことを教えています。罪の告白をすることで、私たちはその罪が赦されていることを知るということです。「主よ、憐れんでください」と願い求めるときに、すでに憐れみによって生かされている自分を知って、神の栄光を讃えるのです。

私たちは本来、そのように憐れみを求めて生きる者だからこそ、主イエスは教えられるのです。「心を入れ替えて子どもようになる」「自分を低くして、この子どものようになる」ことを。当時の子どものように、世の中にあつて小さくされる私たち、そしてそれぞれの小さな働きや業というものは、この世においては多くの場合、無駄だとか無意味だとかみなされ、無力感を覚えることがあるでしょう。また、毎週の礼拝に集められることも、世の中からするならば小さく、無駄で、無意味なことのように映るでしょう。しかしこの世において小さな存在、小さな働きが祝福されて豊かにされ、大切にされるのが、天の国である、と今日主

イエスは教えておられるのです。先の女性会の聖書研究において、一人の方がご自身の体験を分かち合ってくださいました。ご主人が大きな手術を受けられた直後、町内会の清掃に参加し、遅れて教会に着いた時、ちょうど一同が「主よ、憐れんでください」とキリエを唱えているときであったそうです。そして、その言葉にたいへん慰められたと。その証しをお聞きして、「主よ、憐れんでください」とは自分のために叫ぶだけではなく、すべての人のために、私たち教会の群れが叫び続けなければならないのだと気づかされたのでした。それほどにこの世の中は、主の憐れみが必要としているからです。

ですから、私たちは日々の生活の中から毎週の礼拝の場に帰り、「主よ、憐れんでください」と心からの声を明らかにする、こうして、この世において小さなものでしかない私たちが、そのままふさわしいと迎え入れられるのを知るに至るのです。そのために、私たちは週の初めの日に礼拝の場に集められ、神の奉仕をいただいて新しく生き始めるのです。

(聖霊降臨後第16主日)

教会と私

○井○子

現在一人の牧師先生が一つの教会だけでなく、二つ、三つと受け持っている、いわゆる兼牧の教会がたくさんあります。神さまから遣わされた牧師がない教会があるのです。寂しく悲しいことです。私は本当に恵まれた教会生活を送っています。本当に感謝です。この大好きな教会に来ているのは、今私だけです。主人は年に1、2回、子どもたちも孫たちも来ていません。孫が小学生の頃は、子どもクリスマスには来ていました。中学生の時、いろいろあったのです。長男の和○が中学2年生の時、部活のことで学校に行けなくなりました。優勝出来るように指導なさる先生でしたが、それだけに厳しく、体罰で前歯を折った子もいたようです。娘は厳しすぎる指導について、校長や教育委員会にかけ合いに行きましたが、何も変わりませんでした。娘も和○もカウンセリングを受け、努力しましたが、中2の夏から学校を休むようになったのです。顔つきも暗くな

り、無口になりました。家に閉じこもっていると、健康に良くないと、夜町内を走ったり、家族でやっているソフトバレーの練習などに参加していました。高校受験のためにも勉強が遅れると思ったのか、中3になって頑張つて学校に行き始めました。でも元気はありません。顔つきも暗いままでした。高校に入ってやっと明るく元気になりました。

3番目の孫娘の○紗もダメになりました。中学で部活はバレーボールに入りました。小学生の時からやっていたし、背が高かったので一年の時からレギュラーになって頑張っていました。二年生の夏、三年が引退した後、先生から言われ、部長になりましたが、もう一人のレギュラーになっていた子を中心に無視され始め、先生からはまとめるよう求められ板ばさみになり、折れてしまいました。二年生の三学期、○紗に会った時「私病んでるの」と言いました。和○のことがありましたので、すぐわかりました。一ヶ月後には「まだ冬眠中なの」と言わずと家にいます。○紗は和○と違って明るく振舞っていました。娘は働いていましたので、

○紗は家の中のことは何でもやり、半日は外に出られませんが、土日や夏休みには家族とソフトバレーをやったり、私たちと海に行ったり、主人と親子三代でソフトバレー大会に出て優勝したりと元気そうにみえましたが、とうとう学校には行かないまま、卒業式を迎えました。一年三ヶ月学校に行かなかったのです。卒業式にも出ないと言っていました。胸を張って卒業式に出て卒業証書を頂いて来なさいと送り出しました。その時には、高校受験も終わり、合格していましたので、出られたでしょう。楽しそうに高校に行き、友だちも出来たと聞いたので、教会ピクニックに誘ってみました。行くと言い、3人にも聞いて、4人で揃って参加することになったのです。本當にうれしいことでした。それは一番下の○和も問題をかかえていたからです。中1の夏頃から、気持ちが悪く、吐き気がする、頭痛いと言つて、学校を休むようになりました。最初は夏風邪かと思いましたが、なかなか良くなりません。それで病院でCT、レントゲン等すべての検査をしてもらいましたが、どこも悪くありませんでした。9月、10月は休みまし

た。その後長期の休みはありませんが、ちよこちよこ休むのです。それがずーっと続いていました。5月の2日に娘から電話がありました。娘が出かけた後、自分で学校に電話して気分が悪いから休むと連絡し、家で寝てるから学校に行くように言つてと頼んで来ました。このようなことは時々ありましたが、今回は本当に怒っているからと伝えて何としてでも行かせてね、というのです。私はすぐ行きました。今日頑張つて行けば、明日からまた連休で休めるからと言つても、私の顔を見ようともしません。その時、和○が部屋に入ってきました。今日は大学が休みだと言つて、○和に話しかけ始めました。私はそつと部屋を出て外で聞いていました。自分も同じだったから良くわかる。でも、今日行くと明日から休めて楽しいよ。そこまでは私と同じでした。でもその先は違っていました。今、学校で何の勉強をしているのかと聞き始めたのです。私はその先は聞かずに離れました。しばらくすると部屋から出て来て、今から二人で勉強するから、そして4時間目から学校に行くと言いました。

聖書月間報告

○本○宣

藤が丘教会の聖書月間第1回（6月25日）では、江口再起先生をお迎えして、聖句箇所・ガラテヤの信徒



への手紙2章19―20節・マルコによる福音書9章14―29節、説教題「信じるということ―ルターへの信仰観―」でルターの生涯や人格に関して解説を受けながら、「『キリスト者の自由』を読む」の読書会が出た質問

に答える形で説教がなされた。

ルターの特徴として真剣さとおおらかさが挙げられ、例として悪霊に取りつ

そして二人で一生懸命、でも楽しそうに調べ物をしたりしています。和也がこれを自分の言葉で書いて発表しなさいと言っていました。私は4時間目に間に合うように送りながら、○和に和○にみてもらって良かったねと声をかけるだけでした。思ったのです。私もやさしく思いやりの言葉を持って、接していたつもりでした。でも違っていたのです。相手が思いやりの心を感じてくれなければ、それは空しい言葉でしかない、押しつけでしかないということに気づきました。心から思っていたつもりでも、なんとかして学校に行かせなければという気持ちがあり、相手の心に添うように、本当の心を持って接していなかったのです。思いやりの心の難しさを感じ、うわべだけでは通じない。相手に通じる本当の心を持ちたいと思いました。

ているよ、「祈ってるよ」という言葉をかけるだけです。人を責めるのではなく、人の心の痛みがわかる人になってほしい。心を強く持つてほしいと願っています。

大好きな教会で生き生きしている姿。神様の恵みを受けて喜び賛美を捧げている姿。神様の愛を信じ、牧師先生を中心に教会員の人たちと支え合い、助け合い、祈り合って教会を良

かれた息子の回復を祈る父親が、イエス・キリストに対して「信じます。信仰のない私をお助け下さい」とお願いする言葉が取りあげられた。この言葉は、信仰という意味では矛盾または混乱しているように思われるが、むしろ「お助けください」という箇所注目すると、本当に助けをもらうためには身近にいてもらう必要がある事からこれを神の救いとして考えると、内側に入り込むほど近くいるという事を意味する。これがガラテヤの信徒への手紙2章20節「『生きているのは私ではない。キリストが私の内に生きている』の箇所へとつながる。つまり、信じるという事は神にゆだねることにより安心や安らぎを得て、神の作られた素晴らしい世界の中で生きていることを意味している。ルターは、聖書の解説の序文の中で、信仰を「私の中に働く神の技」と「神の技にたいする私たちの確信」と記述しているが、これにより我々はパウロと同じ真剣さとゆるぎなさ、安心を得ている。

12時半より、ルターの生い立ち、人格、当時の時代背景などから、ルターがなした仕事と『キリスト者の

第2回聖書月間の様子



『自由』の解説がなされた。2つの基
本命題…「キリスト者は、すべての
者の上に立つ自由な君主である」「キ
リスト者は、すべての者に奉仕する
僕である」に関して、改めて説明が
なされた。その後、質問としては「律
法と福音」「義認と聖化」「信仰生活」
などが出てそれに対する説明がなさ
れ、今後ルーテル教会とカトリック
が今後一緒に何ができるかを考えて

いく必要がある事が説明された。
第2回(9月10日)は、イザヤ書
45章15節とマタイによる福音書18章
18-20節を用いて、説教題…「隠さ
れた神」の説教がなされた。コリ
ントの信徒への手紙13章12節…「鏡
におぼろげに映ったものを見てい
る」の聖句にあるように「隠された
神」はしばしば無慈悲に見える。し
かしながら、実は神ご自身が我々
と一緒に苦しみ、共に泣い
て下さっているのであり、
我々はその恵みに励まされ
つつ、マタイによる福音書
25章40節…「私の兄弟である
この最も小さい者の一人に
したのは、わたしにしてく
れたことなのである」を行
うことにより「隠された神」
に出会うことができる。す
なわち、隣人愛は神に出会
いそれを信じることであり
という解き明かしがなされ
た。

説教後の信徒講座におい
て、改めて『キリスト者の
自由』と『キリスト者の自
由』を読む』の2冊の書籍

への解説がなされた。「キリスト者」
は当時の社会から考えると、ほぼ全
ての人を含み「人間の自由」と考え
てもよい事や、「自由」の定義が現
代とルター時代とは大きく異
なっており、「神があなただを自由
にする」という意味であることが説明
された。「キリスト者の自由」の2
つの基本命題…「キリスト者は、す
べての者の上に立つ自由な君主であ
る」「キリスト者は、すべての者の
下で奉仕する僕である」は矛盾・逆
説的に感じるが、これをルターは第
一部と第二部で解き明かしており、
神の恵みに気が付いたときに人は信
仰を与えられ、罪の重荷から自由

にされた「キリスト者」になり、自
由な奉仕を通して愛に生きる事にな
る。最後に、「キリストが私に対し
て下さって下さったように、私もま
た、私の隣人にたいして一人のキリ
ストになる」という結論への解説が
なされた。その後の質疑では、現在
の社会状況の中でキリスト者として
なすべき事、宗教改革の500年を迎
えた中でのカトリック教会とルーテ
ル教会の関係などが議論された。2
回にわたりお忙しいにもかかわらず
遠方から説教・解き明かしに奉仕
いただいた江口再起先生に改めて感謝
申し上げます。

女性会だより

9月17日礼拝後行われました。
出席14名

聖書の学び…マルコによる福音
書10章46節〜52節
「涙越しに見る御顔」
〜見えるようになりたいと呼び
求める一人となっているか
*「女性の集い」10月21日(土)
に変更。本郷教会

*「ACWC:アジア教会婦人会
議」10月27日(金) 富士見町教
会

*その他 10月8日教会大整理
内容/10月22日カメルーンから
の来訪者のランチ/10月15日カ
トリック教会バサの藤が丘教
会ブース設営の運営管理/11月
3日藤が丘教会バザーの食事メ
ニューと段取り

■投稿 中国・青島の思い出

①

○藤〇子

2017年5月21日、ニュースで

中国山東省青島で、日本人3人がスパイ容疑で拘束されたこと、青島の街並みと、シンボルのカトリック教会がアップで映し出された。容疑者を出した企業は、温泉開発を頼まれた千葉の日本地下探査という会社のおかげで、突然の拘束に、社長は驚きと戸惑いを隠せないでいた。

リゾート地として開発されているが、またひそかに軍事基地ができていて、うかつに近づけなくなっ

ているようだ。

青島は、私が5歳のとき、日清紡に勤めていた父の転勤で亀戸から移住し、戦後まで8年間多感な子ども時代を過ごした所。ドイツ人居留地を、日独戦争で勝利した日本が得た所、そして日本人が多く住み着いた。

ドイツ人が建てた建造物は、美しく赤い屋根に白い壁、緑に囲まれた街の中に、2塔のどんがり屋根のカトリック教会は、街のシンボルであつた。ベランダ付きのどつしりした建物は、日本軍、公的機関が使つていた。

日本 人だけが使うプライベートビーチ「忠の



■青島の街並み。奥にカトリック教会の塔がみえる。

■教会の動向



■9月の教会

3日より、CSが再開されました。礼拝では、聖餐式とこどもメッセーじがありました。5日は洗礼準備会、6日は聖研がありました。10日は聖書月間で江口再起先生をお迎えしました。12日には横浜墓地運営委員会が開かれました。13日にはお仕事会がありました。

17日の礼拝後には、女性会が開かれました。18日は小田原教会にて、アネモス群合同修養会が開催されました。同日、日吉教会献堂式が執り行われました。19日は聖研、23日は一日神学校がありました。

24日の礼拝には日本聖書協会の方がみえ、アピールしていただきました。礼拝に初めてのの越しは、○田○子さん、○井真○さんでした。主の祝福をお祈りします。

■10月の予定

- 8日 礼拝後、教会清掃
- 15日 カトリック教会バザー
- 22日 アジア学院奨学生来訪、女性会、墓前礼拝
- 29日 宗教改革主日礼拝

ホームカミングデー

2017年11月26日(日)

神と共に 人と共に
「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」
ローマの信徒への手紙 12章15節

■礼拝 10時半～11時半
説教 栗原茂牧師
(元世田谷新町教会牧師)

■交わり 12時～14時 (予定)
※軽食をご用意いたします。

最初の礼拝から34年、懐かしい方々をお招きして、
と一緒に礼拝と交わりのときを過ごしましょう。
どうぞご出席ください。

日本福音ルーテル藤が丘教会
〒227-0043 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2-31-21 fujigaoka@jelc.or.jp
電話 045-973-2729 ファックス 045-479-7009
URL: https://www.jelc.fujigaoka.org/ 東急田園都市線「藤が丘」駅南11より、徒歩5分